負担金検証調書【平成28年度交付分】

1　負担金の予算決算等について

負担金の名称	日本ライン夏まつり実行委員会負担金		市の担当部課	観光交流課			問い合わせ先	0568-44-0342
負担金の金額	予算額	22,067,000　円	当初交付額	22,067,000　円	決算額	**19,337,866**　円	前年度決算額	33,059,352　円

2　負担金の交付先について

交付先の状況	名称	日本ライン夏まつり実行委員会	（法人格の有無）	無	代表者	犬山市長　山田拓郎	所在	犬山市
	構成団体	犬山市、各務原市、犬山市観光協会、各務原市観光協会、犬山商工会議所、各務原商工会議所						
	設置の根拠	日本ライン夏まつり実行委員会規約						
	意思決定の方法	重要案件については日本ライン夏まつり実行委員会にて決定する。（規約第9条）						
事務局の体制等	所在	愛知県　犬山市観光交流課内			代表者	犬山市観光交流課長		
	事業資金の管理責任者	犬山市観光交流課長			事業資金の管理者	犬山市観光交流課職員		
	契約、支出決裁の方法	（事務局が市である場合）市のルールに準じているか？	一部準拠	完全準拠でない場合の内容等	3万円以上10万円未満の事務は、施行伺省略（支出調書のみ）			
		（事務局が市でない場合）具体的に記述					証拠書類の有無	有
	事業資金等の保管方法	金融機関への預け入れ（預金通帳と印鑑は管理責任者が保管）による。						

3　負担金の対象となる事業等について

事業内容（事業の全体像）	日本ライン夏まつり納涼花火大会の企画、立案、調整に関すること。花火大会の実施に関すること。その他花火大会に関すること。
（犬山市の役割）	雑踏警備、会場整備、事務局運営。
事業実績（具体的な手法）	8月1日～9日ロングラン花火：打ち上げ発数約200発/日（3号早打ち40発スターマイン3基、小型煙火1基）、観覧者数通算6,803人。 8月10日納涼花火大会：打ち上げ発数約3,000発（花雷40発、3号夜スター280発、スターマイン28基）、観覧者23万人、雑踏警備員　189人配置。
負担金を交付して市が得たメリット	夏のイベントとして、広範囲的に認知されており、犬山市への観光客誘致の一助となっている。

4　負担金の交付先における収支等について

犬山市負担金額（当初支出額）	22,067,000　円	精算の有無	有	精算（返還）額	2,729,134　円	精算後の負担金の額	19,337,866　円
負担金の対象となる全体事業費（精算がある場合は精算前の額）		収入額	40,184,108　円	支出額	35,480,586　円	余剰額	4,703,522　円
構成員の負担割合（根拠）	日本ライン夏まつり実行委員会により決定						
余剰額が発生した場合の取扱い	過去の中止分の有料観覧席返戻分及び協賛金の負担割合分を繰り越し、残金を構成員の負担割合に応じて、精算する。					繰越額	1,084,469　円
交付先における収入の状況（精算前の額）	構成員の負担金2,926,700円、協賛金7,665,000円、事業収入1,798,450円、繰越金1,453,323円、雑収入335円						

	項目	予算（当初支出時の想定）		決算（実績）		
		積算等	金額	積算等	金額	契約の方法、相手方等
交付先における支出の状況	管理運営費	旅費、需用費、補償・補填及び賠償金	2,732,000　円	旅費、需用費	3,296,634　円	中日本高速道路㈱、(有)コンダクター、㈱ゆたか堂、日本郵政㈱、イナザワ防災㈱、㈱白帝社、㈱槌屋、木曽川観光㈱ほか
	事業費	報償費、委託費、設備費、宣伝費、借上料、手数料、助成金	36,529,000　円	報償費、委託費、設備費、宣伝費、借上料、手数料、助成金	32,173,530　円	看護師派遣代、セクダム㈱、三遠煙火㈱、㈱文化電気、大竹建設㈱、西日本電信㈱、㈱佐野組、合資会社博文社、(有)レントオール、(有)犬山衛生管理組合、犬山市消防本部、巻きわら船保存会ほか
	事務費	振込手数料	20,000　円	振込手数料	10,422　円	名古屋銀行、三菱東京UFJ銀行
	予備費		588,323　円		0　円	未執行
	合計		39,869,323　円		35,480,586　円	
	積算がない場合の特記事項					